

求むInnovation Partners!!

イブニング サロンNEWS

2009 7/23 第14号
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

イブニングサロンNEWS」を発行する会
事務局・東方通信社
TEL: 03-3518-8844



技術力に自信を持つ
佐藤義人社長

富士計測システム(株)は、自動車分野で利用されている計測・制御試験装置をオーダーメイドで製造している。一口に計測・制御といってもその分野は幅広く、研究・開発部門から生産ラインに至るまで、顧客のニーズも多種多様だ。それだけに高い技術力や柔軟性が求められる。そうした条件をクリアする技術力が同社にはある。温度・回転計測といった基礎技術から応答速度や精度の要求される高度技術まで、豊富なノウハウを蓄積してきたからだ。

富士計測システム(株)

「渋沢栄一ベンチャードリーム賞」を受賞したオンリーワン企業の底力

7月23日(木)、第23回目の「新都心イブニングサロン」が開催される。今回のテーマは「IT・組み込み機器」。いうまでもなく先端のデジタル技術であるが、実は手作業も重要な要素。また機器を使用する人間の行動に配慮しなければいい製品はつくれない。結局、アナログ技術も無視できないのである。今回紹介する企業や研究者たちはそうしたことを大事にしていると感じた。

顧客への愛情がデジタル技術を磨く 光るIT企業の強さの秘密!!

なかでも、連続重量方式による自動車エンジンのオイル消費計、世界最高レベルの分析能力を持つ「ナノ粒子測定装置」等はオンリーワン製品といえる。その獨創性や将来性が認められ、昨年12月には「第4回渋沢栄一ベンチャードリーム賞」大賞を受賞した。埼玉県出身者で近代日本経済を牽引した渋沢栄一翁にちなんだこの賞は名誉ある賞として知られており、あらためて同社の高い技術力が世間に知れ渡った。

とはいえ「当社の経営理念はお客様から『ありがとう』と笑顔でいわれること。これらを通して人間的にも成長していきたい」と、佐藤社長の姿勢はあくまで謙虚。オーダーメイドにこだわるのも、顧客ニーズを叶えるためである。

この理念の下で働く社員の質もとても高い。ISO9001品質シス

テムを通して品質改善を実施し、顧客ニーズを満たせるよう製品開発に余念がない。自動車業界が未曾有の不況で元気を失っている中、同社のようなオンリーワン企業にこそ強く羽ばたいてほしいものである。

本社・〒350-1117
埼玉県川越市笠幡3685-30
TEL049-233-7373
<http://www.fksys.co.jp/>



「第4回渋沢栄一ベンチャードリーム賞」大賞を受賞した同社のオンリーワン製品

サーミスタに特化してきた 実力派企業!!

(株)芝浦電子

芝浦電子は、サーミスタ素子およびセンサの専門メーカー。創業以来、サーミスタ一本に特化して邁進してきた。その結果、国内外に13社の子会社を持ち、開発から販売まで整備された企業グループを形成。85年にはジャスタック上場をはたすなど、堅実に発展してきた。成長の原動力はもちろん優れた技術力である。

ちなみにサーミスタ(Thermistor)とは「熱に敏感な抵抗体」という意から名付けられた言葉で、温度変化によって抵抗値が大きく変化する半導体のことをいう。

温度上昇とともに抵抗値が増加するサーミスタをPTCサーミスタといい、逆に抵抗値が減少するものをNTCサーミスタという。通常は、NTCサーミスタのことを指す。

芝浦電子のサーミスタ素子製品



マイナス50℃～300℃の温度範囲で、抵抗値が変化する特性を利用し、マイコンと組み合わせた温度センサなどに利用されている。同社では、ガラス被覆の高信頼サーミスタ技術をベースに低温用から高温用まで幅広い温度範囲をカバーするセンサを開発している。応用されている機器は豊富で、製氷機、電子レンジ、炊飯器、エアコン、暖房機器、複写機、プリンター、自動車等にまで対応。まさになくてはならない技術といえる。

本社・〒346-0004
埼玉県さいたま市桜区町谷2
-7-18
TEL048-8559-6010
<http://www.shibaura-e.jp/>



芝浦電子の本社屋

黒川プレス工業(株)

「高精度・高品質」をモットーに 邁進する米沢のプレス企業

昭和44年の創業時から、精密プレス金型やプレス打ち抜き加工、その付帯作業を一貫体制で行ってきた黒川プレス工業。もともと通信機器や計数器のプレス部品を得意としており、ここで培ったノウハウによって、現在ではコンピュータ、デジタル、携帯電話、車載用電子部品等のプレス部品でも高い技術力を発揮している。

03年にはISO9001を取得し「高精度・高品質」というモットーを実現するために邁進している。

なお、同社を支えているのが、

会員組織である米沢市電子機器・機械工業振興協議会(米沢市電振協)。市内で電子部品を製造する事業者の連携を促進するために昭和56年に設立した。もともとは大企業の下請けからスタートした企業が多かったが、それぞれが技術を磨いた結果、今では世界的な開発を行うところまで出てきた。現在の会員企業は約20社で、それぞれの得意分野を結集すれば、設計・開発・量産・運送までほとんどの業務が米沢市内で完了できる。

大河ドラマ『天地人』で注目されている米沢市。技術力でも注目目である。

〒992-0021
山形県米沢市大字花沢 231-3
TEL0238-23-2611
<http://www.kp-web.co.jp/>



黒川プレス工業の社屋



高い技術力が結集した同社のプレス機

マスクなしで配線完了 時間とコストを削減する技術力!!

(株)工房やまだ

「あえてISOを取りません。規格通りの仕事ではないからです」と語るのは(株)工房やまだの山田秀一社長。同社ではプリント基板の試作・リワーク・改造等を手掛けている。高い技術力が特徴で、基板1枚のオーダーも手作業で対応する。まさに職人集団といったところだ。

通常、基板に電気回路の配線を施す際には、マスクと呼ばれる版を用いて半田を引く。しかし、このマスクは製作するのに1週間程の時間がかかり、加えてコストもかかる。そこで山田社長は、マスクを使わずに作業を仕上げ、短納期を実現することを考えた。高い技術力と豊かな発想力がなければ思いつかないアイデアだ。



マスクなしで基板を仕上げてしまう



卓越した技術力が困難な作業を達成させる

また同社では、通常の設計だけでなく、回路設計でミスした基板のリワーク、改造も手掛けている。BGA(集積回路の一種)からのジャンパー配線やQFP(半導体パッケージの一種)の交換を行うことで、基板をよみがえらせている。

「大切なのは経験とやる気と知恵。はつきりいつて理屈じゃない」と語る山田氏。デジタル機器に詰まった電子部品がこうした職人のワザでつくられていることを忘れてはいけない。

本社・〒992-0031
山形県米沢市大町3-1-11
TEL0238-22-0771

付加価値の高い製品とは何か? 人間の行動把握こそがキーワード

福島大学共生システム理工学類 小沢喜仁教授

2種類以上の材料を組み合わせるとそれまでにはなかった性質が生まれることがある。このような材料を「複合材料」という。複合材料は、軽くて強く、複雑な形に成型できる性質がある。また、温度や湿度等が厳しい環境でも対応できることから航空・宇宙機器にも多く利用されている。

小沢教授はこの複合材料について研究を行っており、先進複合材料の材料特性や機能性を追及したり、ユニバーサルデザインに不可欠な材料システムの開発等を行っている。

大学ではいくつもの講義を実施。そのひとつが「材料及び固体の力学」で、機械や構造物を永く使い続けるためにはどのような形状が最適かといったことを講義している。



ユニバーサルデザインなどの第一人者である小沢教授

さらに障害を持った人や高齢者にも使いやすい機械や構造物を作る「ユニバーサルデザイン」の研究にも取り組んでいる。この研究では、人間の構造や動作を理解し、さらに使う人の気持ちも考えなければならぬという。

小沢教授は「ものづくりには、機械や構造物に作用する力とその形の関係を理解することが必要です。また、材料の性質をうまく利用するために、人間の行動を把握することも大事」と話す。書物や実験だけでなく、人とのコミュニケーションも大事な学問といえる。

〒960-1296
福島県福島市金谷川1番地
福島大学



科学のおもしろさを子供たちに伝えた小沢研究室の皆さん

各地に広がるイブニングサロン 「ふくしまイブニングサロン」もスタート

「新都心イブニングサロン」に
触発されて、さまざまな地域で
友好サロンが立ち上がっている。
なかでも山形県の「もがみイブ
ニングサロン」、岩手県の「み
ちのく奥州イブニングサロン」、
そして6月に立ち上がった「ふ
くしまイブニングサロン」は参
加者も多く、かなり本格的に取



野長瀬教授のプレゼンでスタート

り組んでいる。このほかにも小
規模なサロンが各地で立ち上がっ
ており、その広がりぶりには目
を見張る。

イブニングサロンが受け入れ
られる理由として、特定の主催
団体が存在せず、ボランティア
に基づいて運営していることが
あげられる。自治体でも大学で
も企業でもない、それぞれのい
いところを持ち寄って協力する
という姿勢が一体感を生んでい
るようだ。

とはいつても、講師の人選か
ら集客、当日の会場設営など、
本業をこなしながら実施するの
だからかなり大変である。それ
だけに、イブニングサロンがこ
こまで継続し、かつ広がってい
ることは驚異的といえる。
さて、今回は6月12日にはじ
まったばかりの「ふくしまイブ



会場内で配布された企業パンフ

ンでスタートした。その後、
(株)アドテックス(群馬県高
崎市)の佐藤弘男社長が医療機
器の開発についてプレゼン。次
いで日本大学工学部の尾股定夫
教授が医療機器開発の考え方や
理念などを紹介した。さらに
(株)アトム(福島県磐梯町)
の秦安延社長もロボットアーム
の開発の話等を披露した。盛況
でスタートした「ふくしまイブ
ニングサロン」。これからも継
続した発展に期待したいところ
だ。



プレゼンするアドテックスの佐藤社長

サロン公式サイトで 「ニュース」公開中

第10回新都心
イブニングサロ
ンで創刊された
「イブニングサ
ロンニュース」



は、新都心イブニングサロン公
式サイトおよび発行事務局の東
方通信社サイトにてアップされ
ています。第13号までアップし
ていますので、ご覧下さい。

今後も引き続き、さまざまな
角度からニュースを発信してい
きたいと思えます。新商品や新
技術の開発、ご意見・ご要望ま
でふるってお寄せください。

★イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

★東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>

問合せ：TEL03-3518-8844
e-mail：ryot@tohopress.com

月刊『コロンブス』が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊
『コロンブス』

(東方通信社発行)
には、野長瀬裕二
教授の連載コーナ
ーのほか、地元の元



気企業を紹介するコーナーもあり
ます。これまで、さいたま市
産業創造財団の江田理事長(04
年10月号)やNECパーソナルプ
ロダクツの柴田執行役員(06年
2月号)など、イブニングサロ
ンの関係者・参加者たちの取材
記事を多数掲載してきました。
今後、取材を希望される方はご
連絡ください。

問合せ TEL：03-3518-8844

★イブニングサロンの主な世話人

江田元之(財)さいたま市産業創造財
団・理事長／星野弘志 元埼玉県労働
商工部新産業育成課・課長／村重嘉
文(株)イーシティ埼玉・取締役会長／
野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工
学研究科・教授／浜中真人・さいたま
商工会議所産業企画部・次長

★主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推
進機構・事業推進部長／江原秀敏 コ
ラボ産学官・常任理事・事務局長／古
川猛 月刊『コロンブス』編集長(東方
通信社)／根津紀久雄 NPO法人北関
東産官学研究会・理事長／柴田孝・米
沢BNO副代表